



宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会

コミュニティ

すえなり

広 報

第 133 号
令和 5 年 2 月 19 日発行
広 報 部

ブログ検索:

[宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会](#)

Email vr8az2@bma.biglobe.ne.jp

早いもので令和5年(2023年)卯年も2カ月が過ぎようとしています。コミュニティすえなりは、今年に入り、この地域(まち)を「笑顔いっぱい活気あふれる美しいまち」とするため、書初め大会、とんど祭り、地域防災訓練、人権学習、こつこつ体操、健康座談会、避難所運営訓練、地域福祉ネットワーク会議などを実施してきました。これからも皆様の健康を願い、飛躍の年になるように、まちづくりを進めていきたいと思います。

令和5年度は役員(会長、副会長、庶務、会計、監査)の改選の年です。この地域をより良くしたいという気持ちをお持ちの方、ぜひお力をお貸しください。心からお願い申し上げます。(加藤 富三)

地域(まち)の将来像
笑顔いっぱい
活気あふれる
美しいまち

冬 休 み 書 初 め 大 会

令和5年1月6日(金)に冬休み書き初め大会を開催しました。参加者は、児童35人、未就学児7人、保護者8人、スタッフ14人のトータル64人でした。今回は、岡田先生と畑間先生のお2人に講師をお願いしました。

まず初めにコミュニティすえなりの加藤会長より挨拶があり、『本来書き初めは1月2日に行われる事が多く、【文字が



きれいに書けるよ

うになる】【一年の抱負を定める】など新年の抱負や目標を書く、お正月の大切な風習です』と教えてもらい、子供達も興味を持って書き初めをスタートしました。

子供達はお手本を見て、講師の先生からアドバイスを頂きながら何枚も集中して書いている姿はとても真剣でした。

1年生と2年生は筆を持

つ事も初めてで周りの大人から書き方を教えてもらいながら一生懸命文字を書いていました。未就学の子達は、筆を使ってお絵かきを楽しそうにしてくれていました。今回の書初め大会を通じて集中力やお手本を



見て書写する力、普段あまり使わない筆での力加減を学ぶ事が出来ました。児童の中には集中しすぎてしんどくなる子も居た程一生懸命な姿に大人はパワーをもらいました。



今回の書初め大会を通して皆様の願いや希望が叶いますように。(青少年部 運天、澁谷)

とんどまつり

今年のとんどまつりは、雨で1日順延し、1月15日（日）に開催しました。

当日は、300人近くの方が末成小学校に集まりました。朝8時半から、竹と笹を運動場の中央に運び、とんどのやぐらを組み、6年生が選んだ漢字「闘」、各家庭からの注連縄、書初めなどを飾り、10時45分児童の有志数名と校長先生により点火されました。



当日は風がなく、炎は真直ぐ天に向かって上がり、やぐらは途中で崩れることなく形が整ったまま燃えていきました。書き初めや注連飾りと一緒に燃える炎を見つめ、地域の人たちと今年一年の安寧を願いました。

最後に、会場での飲食を避けるため、会場にいられた皆さんに「懐中しるこ」をお渡ししました。

とんどが燃え尽きた後の灰は例年なら校庭の隅に埋めていたのですが、その場所がなくなったので、今年は市北部の西谷の畑に運び、肥料として処理しました。（総務部 天田）



避難・防災・避難所運営訓練

1月19日（木）「1.17は忘れない」阪神淡路大震災を教訓に、末成幼稚園・末成小学校・地域の440名余りが参加し防災訓練を実施。初めに地震発生時のシェイクアウトと運動場への避難、そして津波洪水警報発令時の校舎3・4階への垂直避難を実施。その後、3年生68名と地域の人38名が消防隊員の指導の下、心肺蘇生法・AEDの取扱い、簡易担架づくり・負傷者の搬送、段ボールベッドの組立・片付けなど実技訓練を実施。実技訓練は、3年生にとっては初めて体験でしたが、感想を聞くと「楽しかった」ということばが返ってきました。3年生には、災害発生時に何が出来るかを考えて行動してほしいとお願いしました。

また、1月28日（土）には、避難所運営委員会を開き、10月29日の「感染症対策に配慮した避難所開設運営訓練」で上手く出来ていなかった避難者の受付時の手順と注意点を確認し、実地訓練を実施しました。



簡易担架づくり



事前受付前の消毒



事前受付で健康確認



体調不良者受付

安心と信頼、家族葬なら宝塚飛翔殿

宝塚市末成小学校地域の皆様へ お気軽にお問合せ下さい

提携割引 葬儀基本料金 **20~30%割引**

株式会社 セレナス メモリアルホール 宝塚

いつでも見学OK!

宝塚市小林5丁目9番82号

☎ 0120-51-0042

FUNERAL NETWORK 年中無休・24時間受付

地域福祉ネットワーク会議

わたしもあなたもみんながくらしのパートナー



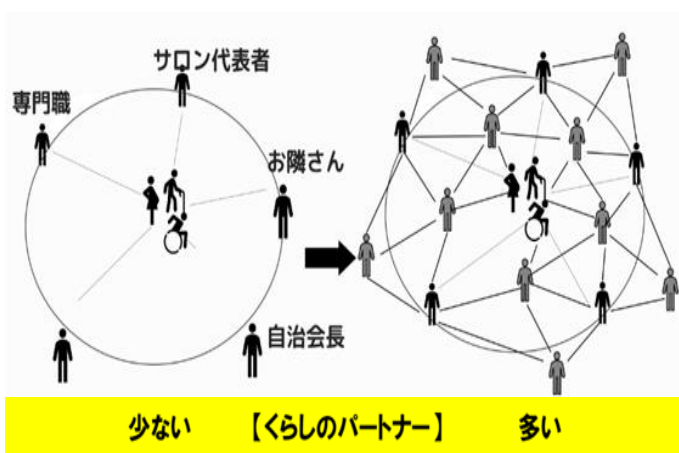
2023年2月6日(月)9時30分から末成小学校南館1階のコミュニティルームで「第2回地域福祉ネットワーク会議」を開催しました。参加者はこの地域の民生・児童委員、主任児童委員、民生・児童委員協力委員、サロンの代表者、保育園・福祉施設の代表、コミュニティすえなりの役員・運営委員、宝塚市地域福祉課の方、宝塚市社会福祉協議会の方の計52名。

地域には、多種多様の方が暮らされており、一人ひとりの存在そのものが価値であり、宝です。一方、一人ひとりが大小様々な悩みや困り事を抱えておられます。地域の皆がそのような方の相談に乗り、支え、悩み・困り事を解決することが「誰もが孤立しない地域(まち)づくり」につながります。悩み・困り事を抱える人に寄り

り添い、一緒に解決する人が「くらしのパートナー」です。

今回の目的は、この地域(まち)に「くらしのパートナー」を一人でも多く増やすこと。テーマは、昨年7月27日の第1回ネットワーク会議で共有した地域資源を活用し、「日頃の活動の中でつなぐ(コーディネーション)を学ぶ」です。

参加者は6グループに分かれて、「くらしのパートナーとは何か」の説明を聞いた後、ふたつの事例をもとに、相談を受けたときに・どんな方法でつなぐかを個人で考えたりグループで話し合ったりしました。そして、参加された皆さんが実際に「どんな人をどのようにつないだか」というエピソードを発表し共有しました。様々なエピソードが紹介され、大変充実したネットワーク会議でした。「私もあなたもみんながくらしのパートナー」の視点を持って活動していくことが、住みやすい地域につながると思いました。(福祉部 前田美知子)



コミュニティルームのデジタル化

各まちづくり協議会は、宝塚市から地域活動における交流・情報発信等のデジタル化を促進し、「新しい生活様式」を取り入れた地域活動を推進するため、地域活動のデジタル化に必要な経費の補助を受けました。この補助金で、コミュニティすえなりは、コミュニティルームのネットの電波環境を強化するため、メッシュWi-Fi対応のルーターと中継器を購入しました。また、移動可能な65インチの大型モニター、PCやスマートフォンとモニターやプロジェクターを無線で接続するためのデバイス、リモート会議に必要なWebカメラやスピーカーフォンなどを購入しました。2

月6日の地域福祉ネットワーク会議では、これらの機材を使用して多目的ホール・和室と集会室の2会場をつないでリモート会議を開催しました。皆様もコミュニティルームをご使用の際には、これらの機材もご利用いただきたいと思います。(加藤 富三)





『避難所開設に思う提言』その2 薬剤師 奥田 徳子

先日トルコ・シリアで非常に大規模な地震が発生し甚大な被害が日々明らかになりつつありますね。阪神淡路大震災や東日本大震災を鮮明に思い出し身の毛がよだつ思いです。どうかお一人でも多くの方が救出されます様、心よりお祈りしています。

自宅が安全ではなくなった時、自宅近隣の避難所は心と命のよりどころ。そこで「ぜひ欲しいもの」のひとつに水道・電気・ガスなど生活インフラがありますが、最も生命に直結するのが水で「水の確保」には給水・排水のルート確保も含まれます。学校や公民館などで避難所を設営した場合、大半では水インフラの平時設備は整っていますが、災害時に機能しているとは限りません。特に水洗トイレは当面使用出来ないと考えておいた方が良いでしょう。おそらく早急に仮設トイレは施設外部に設営されます。しかし夜間などには就寝する方々の間を抜けてトイレまで行かなければなりません。一旦建物の外にも出なければなりません。そうすると水分摂取を控えてしまう避難者が増加します。それは「血管の詰まり」から来る二次的健康被害に直結し時には命にも関わります。ですから避難者の方は「水分はきちんと摂り身体は適度に動かすこと」、避難所設営の方は「夜間でもトイレに行きやすい動線」を心がける必要があります。トイレ以外の給水と言え、手洗い・うがい・調理・洗濯。ここで「手洗い・うがい・衣類等の洗濯」と「調理・食器洗浄」の水源を分ける工夫をしましょう。「汚れを流す水」と「身体に入れる水」の区別が感染症や胃腸不具合の予防に大きく貢献します。岩手県釜石市では廃校になった街中の中学校でも避難所を設営しました。衛生面で大きな問題はありませんでしたが、そこでも工夫次第で給水の水源分割は出来ました。宮城県石巻市でも「排水」への工夫が害虫繁殖防止に重要と意識され工夫が重ねられました。神奈川県藤沢市のモデル地区では住宅地内の公園に設置されたマンホールの下に下水管が通っており生活用水が排水されていて、災害時にはマンホールの蓋を開けて上に仮設便座を設置し周囲に仮塀を建ててトイレに活用する仕組みもあります。さすがにこれは個人や地域の工夫では難しいと思いますが、その様な取り組みをしている地域もあるということです。



どうか、その時そこにあるもので最善の知恵と工夫を。

| | |
|---|--|
| お知らせ | 【寺子屋すえなり】 2月27日、3月6日・13日 の月曜日 14:30~ |
| | 【福祉部】 3月8日(水) 10:00~ 喫茶連絡会 |
| | 【青少年部】 2月23日(木・祝) 9:00~ ドッジボール大会 |
| | 【環境部】 3月18日(土) 8:00~ 御所川清掃 |
| | 【ルーム運営部】 2月24日(金)、3月24日(金) 15:30~ ルームの利用受付 |
| 【末成ジュニア・ウインズ】 3月26日(日) 14:00~ スプリング・コンサート | |

地域なんでも相談~フレンド~

- 2月22日(水) こつこつ体操・
スポーツゲーム(室内ペタンク)
- 3月 8日(水) なんでも相談
- 3月22日(水) こつこつ体操・健康座談会
- 4月12日(水) なんでも相談

13時30分~15時 末成小学校 多目的ホール
参加費無料

1/25 健康座談会より

- ① 脳・脊髄・感覚器など神経系の発育は6歳頃までに100%近くに達する。
遊びを通じた様々な動き、走・投・跳を中心とした運動、多くの人との対人関係の経験が神経系の発達につながる。
- ② 認知症の予防には、食・運動習慣を改善し、メタボ対策・内臓脂肪を溜めない、糖を消費する筋肉を増やすこと。
- ③ そのためには、持続的な運動と貯筋運動をする。
くねくね体操(運動神経の刺激)
スロースクワット(筋力アップ)

お問合せ先：コミュニティすえなり福祉部
小垣 佳子 71-5644 前田 美知子 71-9646